2024/10~2024/12 にっしん景況レポート

2025/1 Vol.



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、 2024年10~12月の景気の現状と2025年1~3月の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。 対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2024 年 10 ~ 12 月の実績(12 月については予想)

2025年1~3月の見通し

2. 調 査 方 法 : 営業店調査員による面接聴き取り

3. 調 査 対 象 先 : 当金庫営業エリア内の 360 社

4. 分析方法: D.I.という指標を用いた分析。

D. I. とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目 について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比

の差が判断D.I.となります。

各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強い のか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。

5. 期間について : 今 期 = 2024年10~12月

前 期 = 2024年 $7 \sim 9$ 月 前年同期 = 2023年 $10 \sim 12$ 月

x 期 = 2025 年 $1 \sim 3$ 月

6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	149	47	22	17	24	19	20
三木地区	56	18	11	6	8	9	4
神戸地区	152	23	24	17	39	26	23
業種合計	357	88	57	40	71	54	47



今期(2024年10月~12月)は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が2.0となり、前期(2024年7月~9月)に比べ13.1ポイント改善した。売上額判断D.I.は11.2となり、前期と比べて9.0ポイント改善した。収益判断D.I.は8.1となり、前期と比べて8.1ポイント改善した。

来期(2025年1月~3月)の予想業況判断 D. I. は \blacktriangle 8.1となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。

〈回答数〉

	良い	やや良い	普 通	やや悪い	悪い	合 計
回答数	17	77	176	67	20	357
回答割合	4.8%	21.6 %	49.3 %	18.8 %	5.6 %	100 %

〈 2024年10~12月地区別業況判断D.I. 〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	5.4	▲ 2.1	▲ 22.7	5.9	4.2	31.6	30.0
三木地区	▲ 14.3	▲ 16.7	▲ 27.3	16.7	▲ 12.5	▲ 11.1	▲ 25.0
神戸地区	4.6	0.0	16.7	▲ 17.6	▲ 7.7	19.2	17.4
全 地 区	2.0	▲ 4.5	▲ 7.0	▲ 2.5	▲ 4.2	18.5	19.1

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況(実績)	▲ 11.1	2.0	▲ 8.1	販売価格(前期比)	16.7	26.6	18.5
売上額(前期比)	2.2	11.2	▲ 6.2	仕入価格(前期比)	50.4	55.7	45.4
売上額 (前年同期比)	8.1	10.1	_	資金繰り(楽-苦)	▲ 10.8	▲ 14.3	▲ 12.6
収益(前期比)	0.0	8.1	▲ 10.6	人手不足(過剰-不足)	▲ 35.0	▲ 40.6	▲ 36.4
収 益(前年同期比)	1.9	3.1	_				

〈「全業種主要D.I.の推移〉 ■業況(実績) ■売上額(前期比) ■収益(前期比) 20.0 10.0 0.0 **▲**6.4 0.0 ▲10.0 **▲**10.3 **▲**11.1 ▲10.6 ▲20.0 ▲20.2 ▲30.0 ▲29.6 **▲**40.0 **▲**50.0 <u></u> 2021.12 2024.9 2022.3 2022.6 2022.9 2022.12 2023.3 2023.6 2023.9 2023.12 2024.3 2024.6 2024.12 来期見通し

製造業 回答企業 88企業

今期の業況判断D.I.は▲4.5となり、前期実績と比して14.4ポイント改善した。

売上額判断D.I.は9.1、収益判断D.I.は10.2となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は5.8ポイント改善、収益判断D.I.は11.3ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は2.3、収益判断D.I.の前年同期比は1.1となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

来期の予想業況判断 D. I. は \blacktriangle 11.4となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断 D. I. は \blacktriangle 8.0、予想収益判断 D. I. は \blacktriangle 10.2となり、売上額および収益は減少する見通しである企業の割合が多かった。

〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期(実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況(実績)	1 8.9	▲ 4.5	▲ 11.4	販売価格(前期比)	6.7	26.1	20.5
売上額(前期比)	3.3	9.1	▲ 8.0	仕入価格(前期比)	50.0	53.4	45.5
売上額 (前年同期比)	2.2	2.3	_	資金繰り(楽-苦)	▲ 8.9	▲ 10.2	▲ 9.1
収益(前期比)	▲ 1.1	10.2	▲ 10.2	人手不足(過剰-不足)	▲ 31.1	▲ 38.6	▲ 36.4
収 益(前年同期比)	▲ 4.4	1.1	_				

卸 売 業 回答企業 57企業

今期の業況判断D.I.は▲7.0となり、前期実績と比して15.8ポイント改善した。

売上額判断D.I.は19.3、収益判断D.I.は1.8となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は21.1ポイント、収益判断 D.I.は14.1ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は14.0、収益判断D.I.の前年同期比は▲1.8と なり、昨年の同じ時期に比べ売上額は増加したものの、収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

来期の予想業況判断 D. I. は \triangle 33.3 と、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断 D. I. は \triangle 19.3、予想収益判断 D. I. は \triangle 24.6 となり、売上額および収益は減少する見通しである企業の割合が多かった。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況(実績)	▲ 22.8	▲ 7.0	▲ 33.3	販売価格(前期比)	28.1	38.6	22.8
売上額(前期比)	▲ 1.8	19.3	▲ 19.3	仕入価格(前期比)	49.1	59.6	40.4
売上額 (前年同期比)	7.0	14.0	_	資金繰り(楽-苦)	▲ 5.3	▲ 17.5	▲ 17.5
収益(前期比)	▲ 12.3	1.8	▲ 24.6	人手不足(過剰-不足)	▲ 24.6	▲ 31.6	▲ 28.1
収 益(前年同期比)	7.0	▲ 1.8	_				

小 売 業 回答企業 40企業

今期の業況判断D.I.は▲2.5となり、前期実績と比して10.0ポイント改善した。

売上額判断D.I.は12.5、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は5.0ポイント改善、収益判断D.I.は変わらずとなった。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲12.8、収益判断D.I.の前年同期比は▲25.0となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

来期の予想業況判断D. I.は \triangle 17.5となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D. I.は \triangle 17.5、予想収益判断D. I.は \triangle 25.0となり、売上額および収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況(実績)	▲ 12.5	▲ 2.5	▲ 17.5	販売価格(前期比)	32.5	50.0	30.0
売上額(前期比)	7.5	12.5	▲ 17.5	仕入価格(前期比)	57.5	70.0	50.0
売上額 (前年同期比)	7.5	▲ 12.8	_	資金繰り(楽-苦)	▲ 37.5	▲ 27.5	▲ 27.5
収益(前期比)	0.0	0.0	▲ 25.0	人手不足(過剰-不足)	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 22.5
収 益(前年同期比)	▲ 2.5	▲ 25.0	_				

サービス業

回答企業 71企業

今期の業況判断D.I.は▲4.2となり、前期実績と比して8.3ポイント改善した。

売上額判断D.I.は1.4、収益判断D.I.は8.5となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は2.8ポイント低下、収益判断D.I.は7.1ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は23.9、収益判断D.I.の前年同期比は16.9となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

来期の予想業況判断D.I.は \blacktriangle 5.6となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は \blacktriangle 2.8、予想収益判断D.I.は \blacktriangle 7.0となり、売上額および収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況(実績)	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 5.6	販売価格(前期比)	13.9	15.5	18.3
売上額(前期比)	4.2	1.4	▲ 2.8	仕入価格(前期比)	48.6	54.9	52.1
売上額 (前年同期比)	20.8	23.9	_	資金繰り(楽-苦)	▲ 13.9	▲ 19.7	▲ 18.3
収益(前期比)	1.4	8.5	▲ 7.0	人手不足(過剰-不足)	▲ 43.1	▲ 50.7	▲ 46.5
収 益(前年同期比)	5.6	16.9	_				j

今期の業況判断D.I. は 18.5 となり、前期実績と比して 14.8 ポイント改善した。

売上額判断D.I.が14.8、収益判断D.I.が11.1となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は18.5ポイント、収益判断D.I.は13.0ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は5.6、収益判断D.I.の前年同期比は3.7となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多かった。

来期の予想業況判断D.I.は13.0となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は1.9、予想収益判断D.I.は1.9となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況(実績)	3.7	18.5	13.0	販売価格(前期比)	14.8	20.4	7.4
売上額(前期比)	▲ 3.7	14.8	1.9	仕入価格(前期比)	63.0	64.8	55.6
売上額 (前年同期比)	1.9	5.6	_	資金繰り(楽-苦)	▲ 3.7	1 3.0	▲ 3.7
収益(前期比)	▲ 1.9	11.1	1.9	人手不足(過剰-不足)	▲ 61.1	▲ 66.7	▲ 59.3
収 益(前年同期比)	▲ 1.9	3.7	_				

不動産業 回答企業 47企業

今期の業況判断D.I.は19.1となり、前期実績と比して14.8ポイント改善した。

売上額判断D.I.は14.9、収益判断D.I.は14.9となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は10.6ポイント改善、収益判断D.I.は2.1ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は23.4、収益判断D.I.の前年同期比は14.9となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多かった。

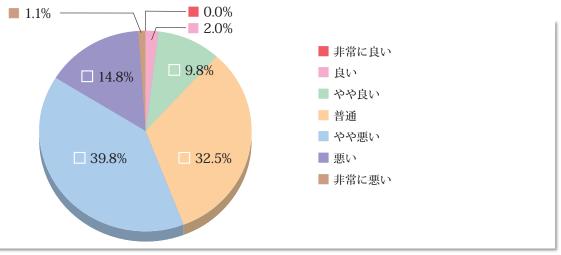
来期の予想業況判断 D. I. は8.5となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断 D. I. は8.5、予想収益判断 D. I. は▲2.1となり、売上額は増加し、収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈不動産業主要D.I.〉

(43/22/12	• /						
	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況(実績)	4.3	19.1	8.5	販売価格(前期比)	14.9	17.0	12.8
売上額(前期比)	4.3	14.9	8.5	仕入価格(前期比)	34.8	34.0	25.5
売上額 (前年同期比)	8.5	23.4	_	資金繰り(楽-苦)	▲ 2.1	0.0	▲ 2.1
収益(前期比)	17.0	14.9	▲ 2.1	人手不足(過剰-不足)	▲ 17.0	▲ 19.1	▲ 17.0
収 益(前年同期比)	10.6	14.9	_				

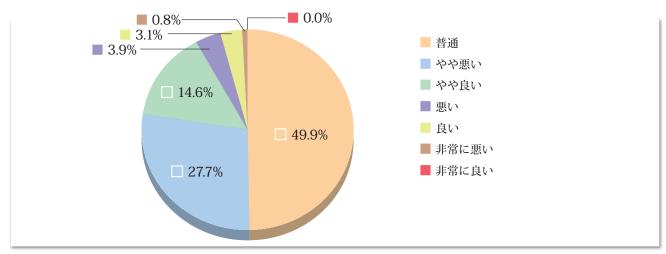
特別調査:「2025年(令和7年)の経営見通し」

○ ~2025年の日本の景気をどのように見通していますか~



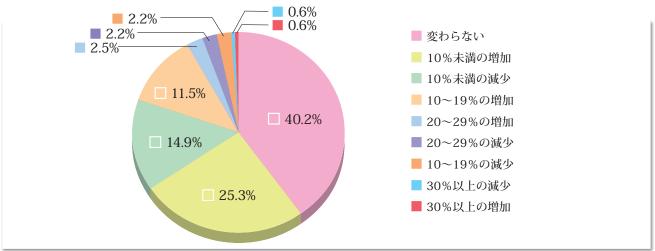
2025年の日本の景気については、「やや悪い(39.8%)」の回答数が最も多く、「悪い」と「やや悪い」を合わせると54.6%となった。次いで「普通(32.5%)」となった。

● ~2025年の自社の業況 (景気) をどのように見通していますか~



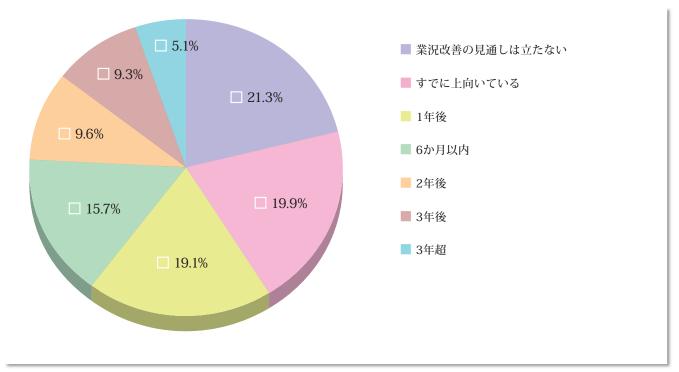
2025年の自社の業況(景気)については、「普通(49.9%)」の回答数が最も多く、次いで「やや悪い(27.7%)」となった。

○ ~2025年における売上額の伸び率は、2024年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか~



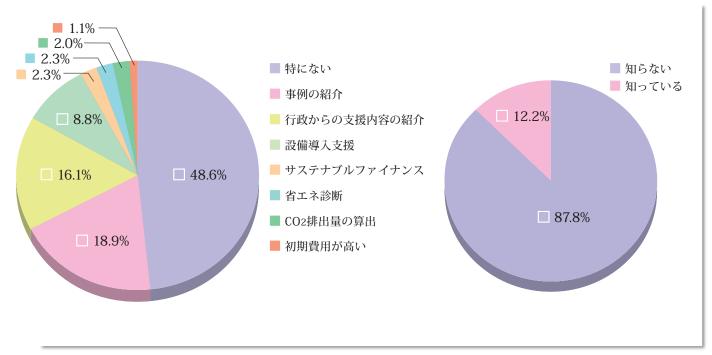
2025年における売上額の伸び率については、「変わらない(40.2%)」の回答数が最も多く、次いで「10%未満の増加(25.3%)」となった。

○ ~自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか~



自社の業況が上向く転換点については、「業況改善の見通しは立たない(21.3%)」の回答数が最も多く、次いで「すでに上向いている(19.9%)」となった。

○ ~ 脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか。 また、信用金庫業界が地域のために積極的に取組みを行っていることを知っていますか~



脱炭素化に向けて信用金庫業界に対して期待する取組みについては、「特にない(48.6%)」が最も多く、次いで「事例の紹介(18.9%)」となった。

また、信用金庫業界が地域のために積極的に行っている取組みについては、「知らない(87.8%)」が最も多く、次いで「知っている(12.2%)」となった。

〈にっしん〉からのお知らせ

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、募集状況により受付を終了している場合がございます。

(●「オンライン創業相談会」を実施します!

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

●開催日時: ①令和7年 2月17日(月)13:00~16:30

②令和7年3月17日(月)13:00~16:30

●開催方法:オンライン(Zoom)

●参加費:無料 ●定 員:各日程3組(ご相談時間1組60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します!

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点と兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターの専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

●開催日時·会場:①令和7年2月13日(木)13:00~17:20 日新信用金庫 滝野支店

②令和7年3月13日(木) 13:00~17:20 日新信用金庫 神戸支店

●参加費:無料 ●定 員:各日程3社(ご相談時間1組75分)



このたびは、第35回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、 下記フリーダイヤルまでお問合せください。



〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク 0120-15-2489

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで

●当金庫の情報発信ツールとしてLINE及びインスタグラムの公式アカウントを発信しております。 当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、 下記QRコードからお友だち追加及びフォローをお願いします。





QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。